

# 研究集会「数学と現象：Mathematics and Phenomena in Miyazaki 2018 (略称：MPM2018)」

日時： 2018年11月16日(金)～11月17日(土)

会場： 宮崎大学工学部B棟2階B210教室

案内： <http://www.cc.miyazaki-u.ac.jp/math/mpm/>

## プログラム

### 11月16日(金)

#### 午後の部

14:00-16:00 矢崎 成俊(明治大学)

「やさしい実験，ゆたかな数理」

≪ MPM2018 特別実験講座 ≫

16:20-17:15 笠井 博則(福島大学)

「有界領域上の2階微分作用素に対する固有値問題のペナルティー法による近似解法」

### 11月17日(土)

#### 午前の部

10:15-11:10 江夏 洋一(東京理科大学)

「感染症モデルにおける解の安定性や進行波解について」

11:30-12:25 榊原 航也(京都大学)

「様々な Hele-Shaw 型問題に対する基本解近似解法による構造保存型数値解法」

注 宮交バス「橋通り3丁目 宮崎大学(木花キャンパス)」の土曜日の朝の時刻表：

8:21 8:54, 8:41 9:18, 9:11 9:52, 9:21 9:54, 9:41 10:18(遅刻!)

午後の部

14:00-14:55 岡 康之 ( 釧路工業高専 )

「 An existence and uniqueness result  
for the Navier-Stokes type equations on the Heisenberg group 」

15:15-16:10 高棹 圭介 ( 京都大学 )

「 Phase field method for mean curvature flow with dynamic boundary condition 」

16:30-17:25 大枝 和浩 ( 九州産業大学 )

「 Stationary problem of a prey-predator model  
with population flux by attractive transition 」

---

本研究集会は、次の科学研究費補助金の援助を受けています。

課題番号	種目	代表者	課題名
17K05334	基盤 C	辻川 亨	非線形拡散反応系における漸近展開法の開発とその応用
15K04963	基盤 C	飯田雅人	漸近解構築に基づく反応拡散系の解の形と動きの解明
16K05279	基盤 C	今 隆助	常微分方程式で近似できる構造化生態系モデルの数理的研究
16KT0135	基盤 C	出原浩史	生命現象における階層を超えるミクロとマクロとをつなぐ理論の構築
17K14237	若手 B	出原浩史	燃焼モデルに現れるパターンの計算機支援解析
17K14220	若手 B	平山浩之	複雑な共鳴構造を持つ非線形分散型方程式の可解性について

世話人： 辻川亨，飯田雅人，梅原守道，出原浩史，伊藤翼，平山浩之，今隆助 ( 宮崎大学 )

連絡先： 今 隆助 (Ryusuke Kon)

〒 889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学工学部工学基礎教育センター

E-mail : konr@cc.miyazaki-u.ac.jp

TEL : 0985-58-7381, FAX : 0985-58-7289

作成日：平成 30 年 11 月 1 日